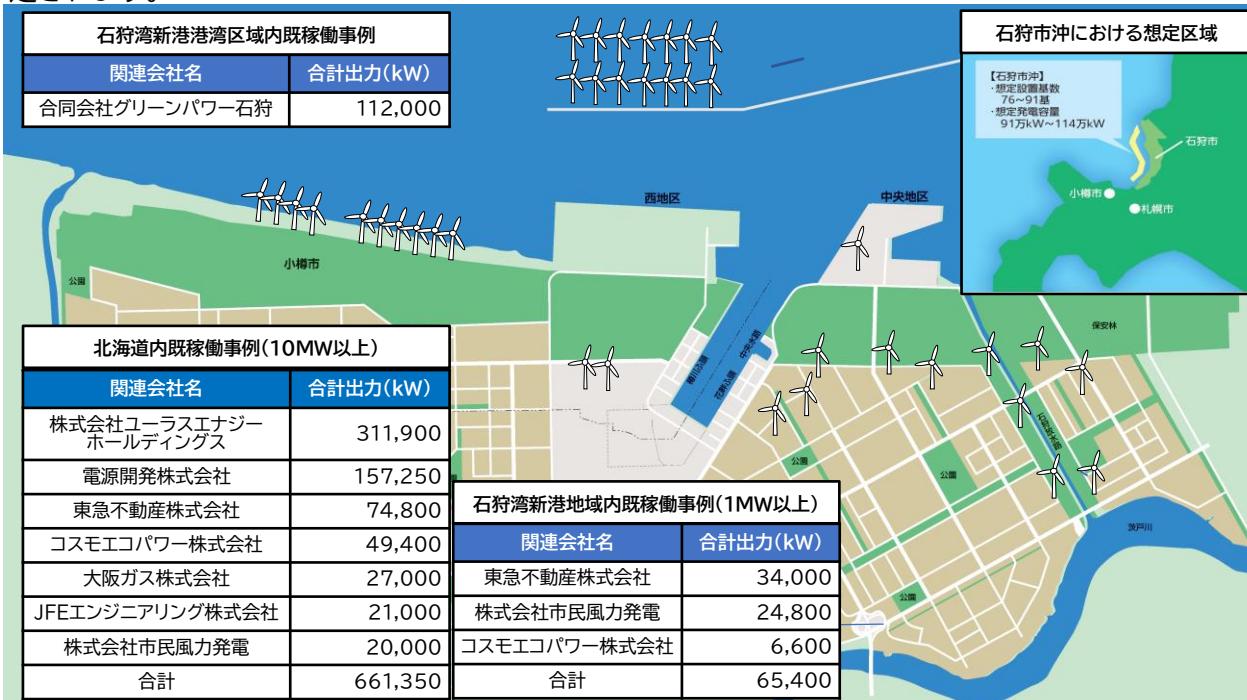




石狩湾新港及び石狩市沖について

札幌圏の産業物流拠点「石狩湾新港地域」は、道都・札幌市に隣接し、札幌駅から15km、車で30分的好位置にあり、札幌の海の玄関口となる国際貿易港「石狩湾新港」を核とする道内最大級の工業団地であり、開発規模3,022ha、立地企業は760社を誇り、就労人口は2万人超となっています。

石狩湾新港港湾区域内では、国内最大級の発電規模を誇る洋上風力発電が営業運転を開始しているほか、石狩市沖の一般海域は、再エネ海域利用法に基づく「有望な区域」に整理され、将来的な洋上風力発電施設の開発が見込まれており、洋上風力発電施設が、石狩市沖を含む北海道日本海側の有望区域5区域に展開されることで、日本海側唯一の重要港湾である石狩湾新港の活用が飛躍的に進むと想定されます。



洋上風力発電と親和性の高い産業

洋上風力発電事業には、エネルギー供給業、金融保険業、製造業、建設業、運輸業、サービス業、情報通信業、漁業等の既存産業の事業者がもつ技術・ノウハウの活用が可能です。

様々な分野において、石狩湾新港地域立地企業など地元事業者の洋上風力発電事業の参画が期待されます。

業務分野	分野横断的業務	調査・設計		製造		組立・設置・撤去				運用・メンテナンス													
		プロジェクト企画・開発	ファイナンス・保険	サイト調査・分析	発電所設計	系統連系	風車製造	基礎製造	風車基礎設置・撤去	海底ケーブル敷設・撤去	洋上変電所設置・撤去	海上輸送・施工等管理	陸上変電所・ケーブル敷設・撤去	ファーム運用	風車メンテナンス	基礎メンテナンス	海底ケーブルメンテナンス	洋上変電所メンテナンス	海上輸送・施工等管理	ケーブルメンテナンス	陸上変電所・ケーブルメンテナンス		
エネルギー供給業		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金融保険業		●	●																				
製造業(化学工業)		●					●																
製造業(鉄鋼業)		●					●																
製造業(非鉄金属)		●					●																
製造業(金属製品)		●					●																
製造業(はん用・生産用機械器具)		●					●																
製造業(電気機械器具)		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
製造業(輸送用機械器具)		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
建設業(総合・職別工事業)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
建設業(設備工事業)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
運輸業(水運業)		●		●																			
サービス業(専門サービス業)		●	●																				
サービス業(機械等修理業)		●																					
サービス業(自動車整備業)		●																					
サービス業(非破壊検査業)		●																					
サービス業(測量業)		●																					
サービス業(ドローン・ROV)		●																					
サービス業(その他技術サービス業)		●		●	●																		
情報通信業																							
漁業				●																			

(出所)一般社団法人 日本風力発電協会「洋上風力スキルガイド第1版」(2022年6月)

期待される経済波及効果

「平成27年北海道内地域間産業連関表」を活用し、産業連関分析により、4海域(石狩、岩宇・南後志地区沖(着床式)、島牧沖(着床式)、檜山沖)を対象に経済波及効果を試算した結果、調査・建設工事、O&M(20年累計)、撤去工事による、直接効果・1次波及効果・2次波及効果の合計の経済効果は、約2.5兆円と試算されました。経済波及効果のうち、調査・建設工事が約47%、次いでO&M(20年累計)が約34%を占めています。

また、雇用効果は、約19万人と試算され、調査・建設工事が約47%、次いでO&M(20年累計)が約33%を占めています。

項目	項目	調査・建設工事				O&M(20年累計)				撤去工事				合計				
		直接効果	1次波及効果	2次波及効果	合計	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	合計	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	合計	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	合計	
経済効果 (単位:億円)	直接効果	6,973			6,973	5,706			5,706	2,888			2,888	15,567				15,567
	1次波及効果	2,737			2,737	1,535			1,535	1,135			1,135	5,407				5,407
	2次波及効果	2,188			2,188	1,405			1,405	913			913	4,507				4,507
	合計	11,898			11,898	8,646			8,646	4,937			4,937	25,481				25,481
雇用効果 (単位:人)	直接効果	61,438			61,438	44,002			44,002	25,733			25,733	131,174				131,174
	1次波及効果	15,000			15,000	10,005			10,005	6,182			6,182	31,187				31,187
	2次波及効果	15,092			15,092	9,692			9,692	6,300			6,300	31,083				31,083
	合計	91,530			91,530	63,699			63,699	38,216			38,216	193,444				193,444

※直接効果:投資によって地域内(ここでは道央地域)で増加する生産額。

※1次波及効果:直接効果によって増加した生産を満たすために必要となる、原材料等の生産誘発の効果。

※2次波及効果:直接効果及び1次波及効果によって発生した付加価値のうち、雇用者所得が消費に転換されることで新たに誘発される生産活動の効果。

石狩洋上風力関連産業集積モデルと今後の取組

石狩湾新港が持つポテンシャルを活用し、脱炭素先行地域・RE(再エネ100%)ゾーンでの産業脱炭素化機能や、エネルギー地産地活を前提としたエネルギー関連産業創出機能を通して、地域の経済効果導出を図ります。これにあわせて、今後道内の一般海域での洋上風力発電の開発を見越した建設機能及びO&M機能を具備した基地港湾の実現を図ります。

石狩湾新港が持つ3つの機能を相互に有機的に結合させることで、洋上風力関連産業の集積の促進を図ります。

